

産業交流拠点に関する市民懇話会 意見概要

日 時：平成 28 年 1 月 19 日（火） 18:00～20:25

場 所：行田市役所 203 会議室

参加者：8 名

【市民意見 概要】

・総合公園のところへ作るメリットがあるのか。作らないほうが良い。作るのであれば渡柳のローソンの近くが良い。

・どんな自動車を通るのか調査すべき。

・スピードも大事だが、金のかかる事業なのできちんと精査していただきたい。

・期間を早めたほうがいいのか。

・地元の人が販売するなどもっと地元の協力があつたほうが良い。そのために幹線道路よりも街中の国道を狙ったほうがいいのか。

・お土産的なものを考えているのなら、古代蓮の里の延長線上のようになってしまう。

・地元が使わないと道の駅は繁栄しない。維持費もそうだが、道の駅を作るのならコストがかからないようにしないと維持は難しい。

・最初から建物を作ってしまったら拠点にならない。人が集まる場所を調査するほうが先ではないか。

・まず、懇話会を開くなら道の駅が是か否かというところからすべきであり、もしつくるなら市民の生活がまかなえるような施設（ショッピングモールやスーパーマーケットのような）にすると良い。

・市民が商品を出す形で産業物品を取り扱うのもいいし、同じ方式で農業品でも良い。売れなくてもいいので、市民が参加し交流できる拠点とすることが大事だと思う。

・行田へは東京、神奈川のほうから観光客の流れが期待できるので、17号に交流拠点を作ることが重要だと思う。

- ・道の駅を作っても最近のひとはあまり高い買い物をしないし多大な金額をかけてまで作るメリットがあるとは思えない。

- ・道の駅で、市内だけでなく県内の物産を取扱うことで需用が増え、交流人口の増加に繋がると思う。また、それにより人が集まって来たところで、それに平行して市民参加の事業を行う。人が集まらなければ市民参加もやる気がおきない。

- ・市民による家庭菜園などによる作物の販売等を行うことで、年金等が少なくなっていく中で市民による収入にもなり、市民サービスにも繋がるのではないか。また、それなら立派な建物も要らないしコストも削減できる。もし、道の駅を作るのであれば今までと違った道の駅を考えていくといいと思う。

- ・道の駅で取扱う物について、埼玉県には海は無いが、海のある地域から水産業などの業者と連携し、こちらの水産業者も巻き込み、鮮魚部門などをつくる。このように新たな流通ルートを確保することも考えたほうが良い。

- ・業者に気を使いすぎず、常に売れている業者をいれておくべき。

- ・展示会などの催しをできるスペースがあると良い。博物館を大々的に作るのではなく、そういったブースにコレクターなどに展示をお願いすればそこにお客さんも来る。そこで農産物や市民の手作りのものなども売る。そうすることにより、もし売れなくても市民に生きがいができる。

- ・常に新しいものを取扱う施設にしたほうが良い。

- ・コンサルタントへ任せるのではなくこちらから案を出して整備を進めたほうが良い。

- ・道の駅を作って、出店者を募るだけではあちこちに同じようなものを取り扱う施設ができてしまうので意味が無い。

- ・今の状況で道の駅を作るとなると、行田市の負担が大きくなりそう。

日 時：平成 28 年 1 月 21 日（木） 18:00～20:05

場 所：行田市役所 203 会議室

参加者：3 名

【市民意見 概要】

・できるできないは別として、常設のアンテナショップ（北海道と九州、など複数）を設置する。

・宿泊施設をつくる。

・販売業者を置くとなると、常に利用者のニーズに応えられる能力のある業者が入ってくればいいが、そうでないと業者の負担が大きく難しいと思う。

・民間の力を活用できるような運営の仕方をしたほうが発想が豊富でいいと思う。

・道の駅に入ってくる事業者で連合体を作り、市はその管理者といったように役割を分担して行ったほうがよい

・物販に限らず、そこに行けば何かある（イベントなど）といったような施設になるといい

・行田周辺ならではのものを置かないと、人は集まってこないと思う。

・食品などについては、賞味期限等の管理が難しいので自分の持っている店とは別にこちらへ出店できる事業者が多くは無いのではないかな。

・商工会議所や商連などを巻き込まずに、市で勝手に連合して作ったりしてしまうと商工会等から反対されたりなどして、事業が進めなくなってしまうのではないかな。

・どこにつくるにしても、市内それぞれの地域から平等に出店者を呼ばないと、一部地域が取り残され、産業交流はできなくなると思う。

・交通の多いところに需用のある道の駅と、産業交流に必要な市街地の活性化では、そもそも目的が違うので難しい。

・プロジェクトチームを作らなければならないのではないかな。

- ・農産物を取り扱うのであれば、商工会だけでなく農協の力も必要になってくる。
- ・商工会を巻き込むにしても郊外にできる道の駅への協力となればなかなか協力してもらえないと思う。
- ・商店会連合会が過去に道の駅を作ろうとしたが、調査した結果断念した経緯があると聞いている
- ・大量生産、大量消費ではなく品質をあげることを優先したほうが集客になる。
- ・忍城の昔の絵図を再現する
- ・ファミリー向けのものがあると、集客効果が大きい
- ・子どもの体験施設も親が来るし、子どもが親になったとき子どもをつれてくるなどの効果があると考えられる。
- ・市外からの客の流れも大事だが、市民が集まる場所にすることが大事。(口コミ効果もあるため)

日 時：平成 28 年 1 月 23 日（土） 13:00～
場 所：行田市役所 203 会議室
参加者：3 名

【市民意見 概要】

- ・本日参加者が少ないが、市民がもっと興味を示したほうが良い。
- ・通行する人に寄ってもらうのではなく、「来る」ようにしてもらう。
- ・車のみを対象にするのではなく、シャトルバスを走らせてもいいと思う。
- ・行田の地域性を生かした施設にするといいのではないか。
- ・遊ぶ、食べる、買う、見る、楽しむを揃えると総合的に集客をできる。
- ・遊ぶ・・・公園など子どもが楽しめるような施設をつくる。
- ・食べる・・・行田のグルメや近隣のグルメを活用する。
- ・買う・・・米や行田の農産物を販売し、海が無いので海産物を取り入れてみては。
- ・見る・・・土日など、定期的にイベントを行ってみては。（甲冑隊や進修館高校の吹奏楽など）
- ・楽しむ・・・体験事業や足湯など
- ・これらを行い、税収や雇用促進を最終目的としてみてはどうか。
- ・道の駅としてでなく、滞在できる施設にしたほうが良い。
- ・行田のものを販売すれば、雇用の促進に繋がるのでは。
- ・観光物産やお土産を取り扱うといいと思うので観光施設を作ってみては。
- ・お金を使ってもらうのであれば高齢者と女性をターゲットにすると良い。お母さんが来れば子どもも来る。

- ・行田はショッピングモールが無いので、そういった供給ができるといいと思う。

- ・行田は、農業が盛んなので農業を取り入れると経済効果も大きいのではないか。

- ・イオンモールなどのように1日滞在できる施設にするといいと思う。

- ・現在行田は、見るところはあるが食べる場所は無い。

日 時：平成 28 年 1 月 25 日（月） 18:00～

場 所：行田市役所 203 会議室

参加者：4 名

【市民意見 概要】

- ・調査資料の交通調査で 125 号バイパスの交通量が多いのは、時間で見ると朝の通勤時間が多く見られるからであり、主要は 17 号バイパスだと思う。渡柳周辺は古墳や緑道も近く立地条件も良いのではないかな。
- ・埼玉の交差点周辺も拡張するので人の流れも見込める。
- ・17 号バイパスの渡柳周辺につくるのについては賛成。埼玉古墳の知名度を活かすのがいい。それがだめならカインズホームの周辺が良いのでは。
- ・調査自体が作為的なものに見える。125 号バイパスを前提とした調査にしか見えない。
- ・候補地として、協力者が見込める地域を選ぶことも大切ではないかな。
- ・道の駅をつくるにしてもつからないにしても立地等の調査はしっかりとやってもらいたい。
- ・上尾道路ができるという観点から、将来性を考えると 17 号バイパスしか考えられない。
- ・渡柳の方であれば、火祭りなどとのタイアップも図れるのではないかな。
- ・懇話会に参加した人からこれだけ 17 号バイパスが良いという意見が出ている。
- ・道の駅に出店するのは、商人だけでなく趣味で野菜などのものをつくっている人も募集することで、その人たちの生きがいとなり、さらにそれを見た人が農業などに興味をもてば産業振興に繋がる。
- ・道の駅をつくるのであれば出店する人、会計をする人、管理する人など、役割をきちんとしたほうが良い。

・いきなり建物を建てるのではなくテントを立て、そこにフリーマーケット方式で出店し、希望者が増えたらテントを増やしたり建物を建てたりするのではダメなのか。

・建物があつたほうが魅力があり、集客もしやすい。

・17号バイパス沿いには、上りにコンビニが無い。

・上尾道路や圏央道などの整備により神奈川、静岡からの集客が見込める。

・市から、責任を持つ人にも懇話会に出てもらいたい。

・近隣市町村の動向にも注目したほうが良い。

・既存の道の駅についてどんな業者が出入りしているのか、屋内と屋外どちらなのか、

赤字になっていないかなどを出店者ごとに調べて欲しい。

日 時：平成 28 年 1 月 27 日（水） 18:00～

場 所：行田市役所 203 会議室

参加者：1 名

【市民意見 概要】

- ・会社員は平日に買い物などはあまりしないので、女性や高齢者をターゲットに考えてみてはどうか。
- ・有力な所や商工会議所などが応援してくれるように、進めていくことが大切だと思う。
- ・そういった所から意見ももらったりするといい。
- ・スーパーを入れてみてはどうか。
- ・事業を進めていくうえでどんな人をターゲットにするのかは決めておいたほうが良い。
- ・交通面で整備されている施設のほうがより様々な客が集まる。
- ・調査はお金をかけてでもしっかりとやってもらいたい。
- ・市民の家に直接訪問して意見を聞いてみてはどうか。
- ・サービスエリアなどの調査も行ったほうが良いのではないか。

日 時：平成 28 年 1 月 31 日（日） 13:00～

場 所：行田市役所 203 会議室

参加者：8 名

【市民意見 概要】

- ・利益の出ないことをやっても仕方がない。
- ・きちんと事業計画を立てて進めていくべき。
- ・市や財団はサービス事業を行う機関であり、収益事業を進めるにあたっては民間のほうが長けていると思う。
- ・調査をして、成功する可能性が低いという結果が出た場合、勇気をもって撤退すべき。
- ・アイデアを持っている人はたくさんいるが、それを実行できる人がいるのか。
- ・野菜の需用はやはり「新鮮」「安い」が多い。行田の道の駅でそれが供給できるのか。
- ・行政も縦割ではなく他部署との調整や意見聴取などもっとしっかりやっていくべき。
- ・農業、商業、工業、観光で連携し進めていかないとだめだと思う。
- ・子どもや若者の純粋な意見も大切。
- ・コンサルに頼んだからと言って大丈夫だというわけではない。
- ・市の中核にいる人よりも経験があり、知識のある市民もたくさんいる。
- ・計画が黒字にならなくてはいけない。
- ・この事業で失敗をしたら、きちんと責任を取って欲しい。
- ・調査結果は市民に公表して欲しい。
- ・トイレと休憩だけの施設にはならないようにしたほうがいい

- デリバリー機能があると良いのではないか。